

ネットワークの設定

ページ: [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#)

CentOS のインストールが無事完了したら、ネットワークの設定をおこないます。

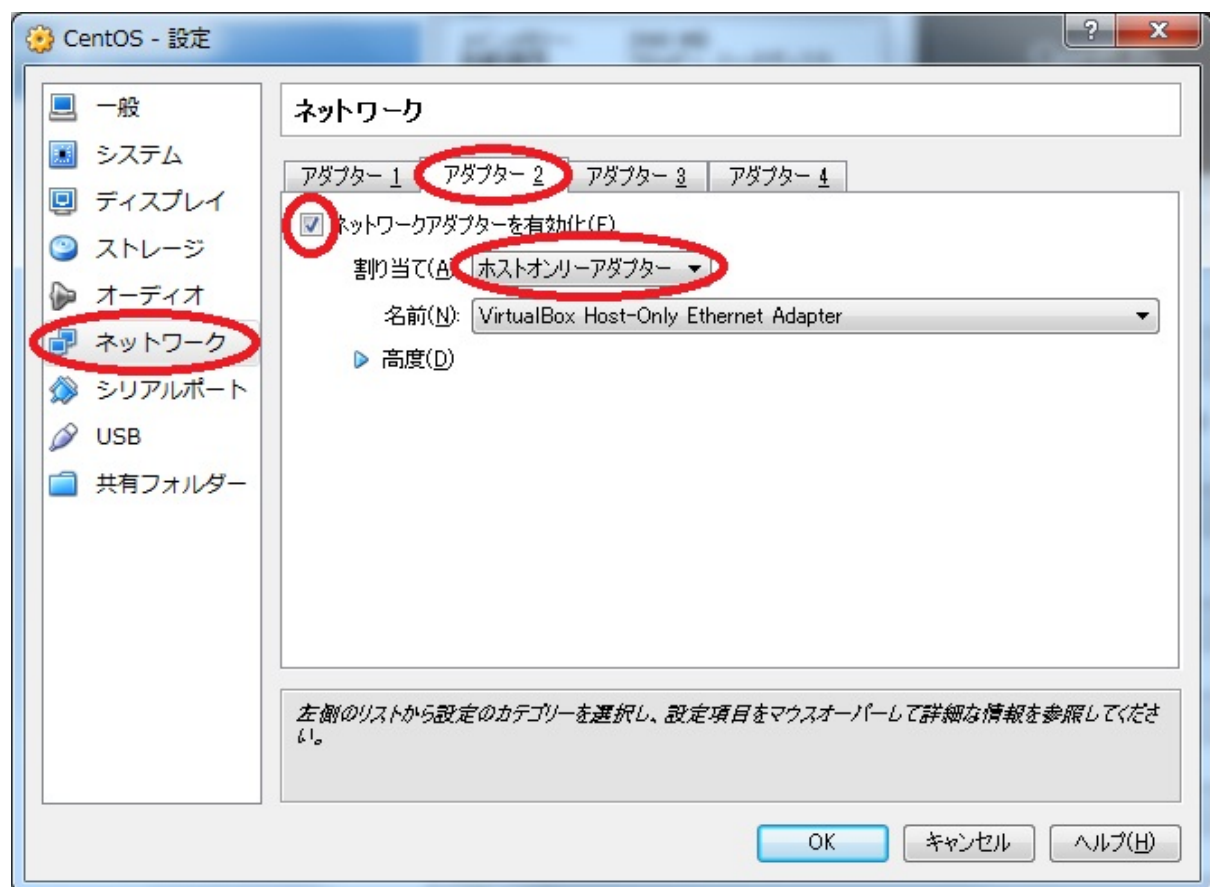
手順 1: CentOS を シャットダウン (停止) します。

root でログインして、

```
# /sbin/shutdown -h now
```

を実行します。

手順 2: CentOS 側の [設定] => [ネットワーク] で、eth1 を「ホストオンリーアダプタ」に設定します。



手順 3: CentOS を 起動 します。

Tera Term 等で、ssh にて 192.168.56.1 へログインします。

手順 4: 手順 3 にて、もしログインできない場合は、ネットワーク定義ファイルを開いて有効にします。

```
# vi /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0
```

```
DEVICE="eth0"
BOOTPROTO="dhcp"
HWADDR="xx:xx:xx:xx:xx:xx"
NM_CONTROLLED="yes"
ONBOOT="yes"
TYPE="Ethernet"
UUID="xxxxx"
```

ONBOOT を no から yes に変えます。

固定 IP にしたい場合は、以下のように指定します。

```
BOOTPROTO="static"
IPADDR="192.168.xxx.xxx"
NETMASK="255.255.255.0"
GATEWAY="192.168.xxx.xxx"
```

BOOTPROTO を変更し、IPADDR、NETMASK、GATEWAY を追加。

設定し終わったら、ネットワークを再起動します。

```
# /etc/init.d/network restart
```

手順 5: 以下のコマンドを実行して、iptables (ファイアウォール) を無効にします。(デスクトップ上なので不要です。)

```
# chkconfig iptables off
# chkconfig | grep iptables
iptables 0:off 1:off 2:off 3:off 4:off 5:off 6:off
```

```
# /etc/init.d/iptables stop
iptables: ファイアウォールルールを消去中: [ OK ]
iptables: チェインをポリシー ACCEPT へ設定中 filter [ OK ]
iptables: モジュールを取り外し中: [ OK ]
```

手順 6: 以下のコマンドを実行して、SELinux を無効にします。(デスクトップ上なので不要です。)

```
# vi /etc/selinux/config
```

```
# This file controls the state of SELinux on the system.
# SELINUX= can take one of these three values:
#   enforcing - SELinux security policy is enforced.
#   permissive - SELinux prints warnings instead of enforcing.
#   disabled - No SELinux policy is loaded.
SELINUX=disabled
# SELINUXTYPE= can take one of these two values:
#   targeted - Targeted processes are protected,
#   mls - Multi Level Security protection.
SELINUXTYPE=targeted
```

SELINUX=enforcing を disabled に変えます。

手順 7: 作業ユーザを作成します。

他のサーバへファイルを移動させた場合に同じユーザになるようにユーザ ID、グループ ID を統一しておきましょう。

下記の例では、500 で統一します。

```
# groupadd -g 500 グループ名
# useradd -u 500 -g グループ名 ユーザ名
# passwd ユーザ名
ユーザ xxx のパスワードを変更。
新しいパスワード:
新しいパスワードを再入力してください:
passwd: 全ての認証トークンが正しく更新できました。
```

手順 8: 作業ユーザで sudo (スーパユーザ権限) を実行できるようにします。
最後の行を追加してユーザに権限を与えます。

```
# visudo
```

```
## Allows members of the users group to shutdown this system
# %users localhost=/sbin/shutdown -h now

## Read drop-in files from /etc/sudoers.d (the # here does not mean a comment)
#include_dir /etc/sudoers.d

ユーザ名 ALL=(ALL) NOPASSWD: ALL
```

手順 9: ユーザでログインして確認します。

スーパユーザで ls を実行してみます。

```
# su - ユーザ名
```

```
$ visudo ls
```

エラーになればOKです。exit で抜けてください。

手順 10: 最後に reboot(再起動) します。

```
# reboot
```

以降、作成したユーザでログインして作業します。

トラブルシュート

Firefox でブラウザが外部へアクセスできない場合、
CentOS 側のファイアーウォールが「無効」になっているか確認してください。
(Windows のデスクトップ上に構築するので、ファイアーウォールは不要です。)

プロキシ経由で、yum コマンドを使う場合は、
/etc/yum.conf に次の行を加えます。
proxy=http:// プロキシホスト名 : ポート番号 /

ページ : [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#)